



巻北小の鯛車には地元愛がつまっていた！

巻北小学校

なぜ巻北小学校には、たくさんの鯛車があるのかな？

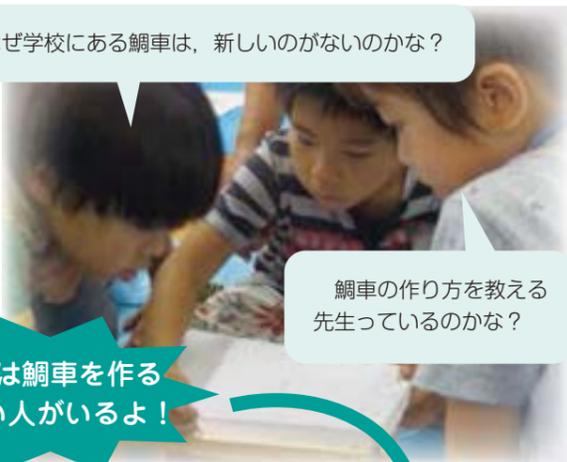
なぜ学校にある鯛車は、新しいのがないのかな？



鯛車を作っているところは見たことないよ！

巻には鯛車を作るすごい人がいるよ！

鯛車の作り方を教える先生っているのかな？

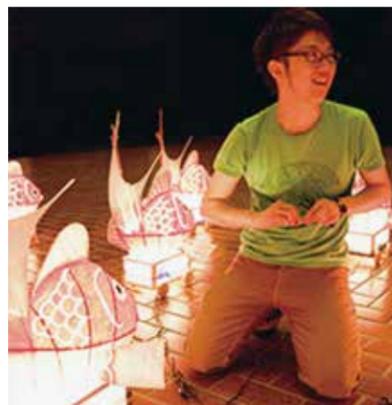


巻北小の鯛車には、なにか秘密がありそうだな？

秘密①

巻北小学校にある鯛車は、みんなの生まれる前の2005年から、夏休みに希望する子どもたちを集めて「鯛車制作教室」を開いたときに、みんなの先輩が作ったものなんだよ！

鯛車復活プロジェクト
代表 野口基幸さん



鯛車を完成させるまでに1回3時間の作業を8回、合計で24時間掛かるんだよ！だから、授業時間では取り組むのが難しく、夏休みにやっていたんだよ！

あの鯛車は、ぼくたちの先輩が作ったんだ！

鯛車の材料費は1台8千円くらいかかるんだよ！夏休み1回で3台ずつくらい作っていったんだ！10年で30台くらいの鯛車を作って巻北小に飾ってあるんだよ！だから、古いものは10年くらい前のものなんだ！

古い鯛車は10年前のものなんだ！1台作るのに8000円くらいかかるんだね！ぼくのお小遣いじゃ足りないな。

鯛車を作っているのを見たことがないのは、夏休みに作っていたからなんだ！作るのに、かなり時間がかかるんだな！でも……作ってみたい！

秘密②

鯛車を教えてくれる野口さんってどんな人なの？

野口さんは、どうして鯛車を作るようになったのですか？

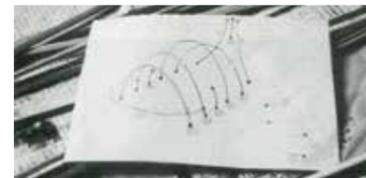


大学でデザインを勉強しました。卒業するときの作品づくりで、子どもの頃に引いた鯛車を作ろうと思ったのがきっかけなんだよ！

巻に鯛車を作っている人が一人いることが分かり、作り方を聞けば鯛車を作れると思ったんだ。その方の家に行ったら、すでに亡くなっていて、誰も鯛車の作り方を知っている人が一人もいなくなって、自分で作らなければならなくなったんだ！

えっ!?

作り方が分からない鯛車をどうやって作ったのですか？



職人の方が残してくれた説明書をたよりに、なんとか鯛車を作ることができたんだ！その鯛車に「復活」という文字を書いたんだ！

大学を卒業した翌年のまき夏まつりで、復活させた鯛車でパレードをしたところ、お年寄りからは「懐かしい」、子どもたちからは「かわいい」と言われました。地元の人たちにこんなに愛される鯛車ならば、作れる人を増やせば、鯛車の文化が消えることはないと考え、「鯛車復活プロジェクト」を作ったんだ！

これまでで、どんな人が鯛車を作れるようになったんですか？



前にも説明したけれど、子どもたちも夏休みに鯛車を作ったというみんなの先輩が何十人かいるよ！



公民館などで鯛車製作教室を大人向けに行っています。今年で12年目になって大勢の大人が作れるようになったんだよ！

今では、毎年アメリカのガルベストーン市で鯛車の教室を開いているから、外国の人も作れるようになったんだよ！

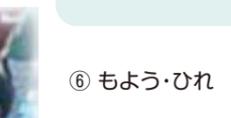


活動を続けていたら、興味をもってくれる人が増えてきて、今では東京や長野でも鯛車の教室をやっているんだよ！



私たちも……巻北小の鯛車を復活させたい！

- ① 穴あけ・土台づくり
- ② ほねぐみづくり
- ③ 紙はり
- ④ ろう付け



巻北小の鯛車も復活させるぞ！

鯛車作りには時間がかかるんだな～！

もう少しで完成だ！復活間近!!

復活!

子どもの声

●巻北小に古い鯛車がたくさんある理由が分かりました。ぼくたちの先輩が作ったものでした。でも、授業では作ったことがないことが分かりました。ぼくたちは、野口さんから授業をもらって、巻北小の鯛車を復活させました。うれしかったです。



●どうして巻のお店などに鯛車がたくさんあるかが、今回の勉強で分かりました。鯛車は巻のみんなが大切にしている文化なんだということです。この文化も野口さんがいなければなくなっていたと思うので、私も少しでも役にたてるようになりたいです。
●野口さんや復活プロジェクトの人たちは、本当にすごいです。理由は、巻に鯛車を教える人がいなくなったけれど、自分たちで復活させたからです。今回、鯛車を作ったので、私も鯛車という巻の文化を伝えていきたいです。